

- (1)「組織としての記憶」  
相馬孝博(千葉大学医学部附属病院医療安全管理部教授)
- (2)「M&M検討会のノウハウ」  
遠山信幸(自治医科大学附属さいたま医療センター副センター長 医療安全・渉外対策部教授)
- (3)「院内調査委員会運営のノウハウ」  
高橋静子(医療法人鉄蕉会亀田総合病院医療安全管理室セーフティマネージャー)
- (4)「RCA実践への要点」  
岩崎 みどり(公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院)
- ※ 教育セミナー2「医療安全」への参加は、事前参加登録制です。第23回学術総会ホームページからお申し込みください。
- ※ 教育セミナー2「医療安全」を受講された参加者には履修証明を発行いたします。
- (2)「栄養管理とその情報連携－摂食嚥下障害看護の役割から－」  
西依見子(Taste & See)
- (3)「生活期・維持期リハビリテーションの栄養管理」  
仲原元清(社会医療法人慈薫会河崎病院リハビリテーション科科長代理/社会医療法人慈薫会介護老人保健施設大阪緑ヶ丘)
- (4)「これから求められる食事提供のあり方～医療・介護・在宅の連携を旨として～」  
東條桂子(社会医療法人生長会ベルキッチン統括所長)

### 3. 災害時におけるBCP

- 座長：高橋 毅(国立病院機構熊本医療センター院長)
- 楠本茂雅(社会医療法人生長会ベルランド総合病院クオリティ管理センター部長)
- (1)「災害医療現場の実相に見るBCPの在り方～サリン、原発、新型ウイルス…想定外の現場から～」  
近藤力也(陸上自衛隊部隊訓練評価隊隊長)
- (2)「なぜBCPは広まらないのか？～わたしの失敗と挑戦～」  
中島 康(東京都立広尾病院減災対策支援センター部長)
- (3)「令和2年7月豪雨災害を経験して～水害に対するBCP～」  
木村正美(独立行政法人地域医療機能推進機構人吉医療センター院長)

## ◆シンポジウム

### 1. 今、医療・介護に大切なこと～変革に挑戦する～

- 座長：田中 滋(公立大学法人埼玉県立大学理事長)  
相澤孝夫(社会医療法人財団慈泉会理事長)

- (1)「大きな変革期を迎えた病院に望むこと」  
相澤孝夫(社会医療法人財団慈泉会理事長)
- (2)「医療提供体制の現状と今後の方向性(仮)」  
藤井睦子(大阪府健康医療部部長)
- (3)「人口構成の変化に伴う医療介護に求められている変化」  
今村知明(公立大学法人奈良県立医科大学公衆衛生学講座教授)
- (4)「共生型社会に貢献する看護の新たな働き方～人口減少時代を見据えて～」  
齋藤訓子(公益社団法人日本看護協会副会長/関東学院大学看護学部看護研究科教授)

### 2. これからの医療・介護領域を見据えた経営面からの

栄養マネジメント～栄養管理情報の連携と栄養マネジメントが日本を救う～

- 座長：若林秀隆(東京女子医科大学病院リハビリテーション科教授・診療部長)  
幣憲一郎(京都大学医学部附属病院疾患栄養治療部副部長)

- (1)「集学的栄養治療で患者を救う・日本を救う」  
山中英治(社会医療法人若弘会若草第一病院院長)

### 4. 特定行為研修制度のこれからの発展

- 座長：増本陽秀(株式会社麻生飯塚病院院長)  
太田秀樹(医療法人アスムス理事長)
- (1)「特定行為研修で何が変わったか？」  
長谷川剛(医療法人社団愛友会上尾中央総合病院情報管理特任副院長)
- (2)「日本看護協会が特定認定看護師を育成する意義」  
荒木暁子(公益社団法人日本看護協会常任理事)
- (3)「大学病院における診療看護師・特定看護師による特定行為実施の現状」  
岩田充永(藤田医科大学救急医学・総合内科学教授)